

魔法処女☆えるぞ(30)

作・坂本鈴

【登場人物】

えるぎ (30)
とんび (25)
あすなる (30)
りつきー (35)
ばんち (32)
まあむ (20)
くろわ (28)
るびい (25)
みかづき
まんげつ
しんげつ

隠れ魔女。
あすなるの弟。飛行機の整備士。
絵描き。
とんびの先輩。飛行機の整備士。
パンヤの店長。
バイト。実は魔女。
店長の奥さん。
バイト。受付。とんびの同級生。
猫。えるぎの相棒。
猫。
猫。

暗闇。

えるざ声　ねえ、ラジオつけて。

みかづき声　えー。

えるざ声　いま手ふさがってるの。

みかづき声　もー。

ルージュの伝言が流れる。

明かりがつくと、ほうきに乗ってる飛んでるえるざと猫、みかづき。

そこに、先輩の魔法のリリがほうきに乗ってやってくる。リリ、猫のぬいぐるみを肩にのせている。

先輩　魔法ツコさん？

えるざ　え、はい。え、魔法っこさん??

先輩　うん。

えるざ　あああ。

先輩　あー、なんか、久々にあったかも。同業者。

えるざ　わたし、あの、初めてです！

先輩　え、そうなの？

えるざ　はい！！

先輩　はー、もはやあれだね、絶滅危惧種みたいだね。

えるざ　そうですね。あの私、えるざっていいです。こっちは猫のみかづき。

みかづき　みかづきです。

先輩　こんにちは。わたしはリリ。こっちは猫のララ。

みかづき　こんにちは。

ララ　……（ぬいぐるみなので）。

先輩　ちよっと、ララ。

みかづき　ちえ、きどってやーんの。

えるざ　ちよっと。

先輩　ごめんね、人見知りで。

えるざ　いえ。あの、わたし、今日旅立ちなんです。

先輩　え、まじで。そうなんだ。じゃあ、13歳。

えるざ　はい。

先輩　わっか。

えるざ　やっぱり大変ですか。新しい街。

先輩　あー、まあ落ち込んだりもしたけど、わたしは元気、だよ。

えるざ　そっかあ。

先輩　でもさ、そろそろ卒業しようとおもうんだよね。

えるざ　魔法ですか。

みかづき　魔法って言うか処女でしょ。

えるざ　ちよっと。

先輩　そうそう。魔法っていうか、処女。

みかづき　20歳過ぎて魔法とかやばいもんね。

先輩　 そうなんだよね。えるぎちゃんはさ、ぶっちゃけいつセックスしたい？
えるぎ　 え、

みかづき　 どうなの。

えるぎ　 え、いつってわかんないんですけど、まあ、20歳くらいまでには、普通の女の子になりたい、みた
いなきもちはあって、

みかづき　 へええええ。

えるぎ　 なによ。

みかづき　 べつに。

先輩　 まあやっぱ10代のうちってのはあるよね。

えるぎ　 そうですよ。

先輩　 20歳すぎて魔女とか、もう人にいえないもんね。

えるぎ　 ですね。20歳すぎると、みんな隠すつていいいますもんね。

先輩　 きいたことある。隠れ魔女でしょ。

えるぎ　 そうですそうです。

先輩　 そうはなりたくないよね。

えるぎ　 ですよ。

先輩　 でもさ、セックスの後、魔法きえちやうのつてさ、どういう感じなんだろうね。

えるぎ　 だんだん、使えなくなるんですかね。

先輩　 すばって使えなくなるのかも。

えるぎ　 どうなんですかね。

先輩　 どうなんだろうね。

みかづき　 ていうかさ、どこまでしたら魔法きえるの？

えるぎ　 え。

先輩　 あのね、Bはね、大丈夫みたい。

みかづき　 B？

先輩　 なんか、ちゅーとか、べろちゅーとか、胸さわられたりとか

どこからともなくあえぎ声。

みかづき　 へー

先輩　 あとね、指はね、いれられてもだいじょうぶなんだって。

あえぎ声、増えていく

えるぎ、ぐらぐらする。

みかづき　 ちよつと、あれ

先輩　 だからやっぱり、最終的には

あえぎ声、更にふえていく

えるぎ、いつそうぐらぐらする。

みかづき　 ちよつと、えっちゃん、興奮しすぎ!!!

先輩
えるぎ え、あ、大丈夫？
えるぎ え、あ、はい、あ、あああ

えるぎ大丈夫じゃない。

先輩
えるぎ え、ちよつと、ええええ？
ああ、や、あ、だ、だめ……

えるぎ、喘ぐような声で墜落していく。
大きくなる沢山のあえぎ声と共に、音楽が消えて暗くなる。
暗闇の中、ひと組の男女のあえぎ声だけが残る。
男の子がイキそう。

男 女
あ、いい、あ、あああ、あ
あ、やっべ、もう、いきそ、いく……あ、いくよ！！
（何かに気がついて）うあああああ！！駄目駄目！！
男 え、あ……
女 駄目！！！帰ってきた！！
男 え、ちよ……あつ（イツちやう）
女 ……おい。
男 だって
女 も、これ、もー
男 いや、だって

玄関の鍵の音

男 女
ああ、もういいやいいや。かえつて。早く。
ええええ。

ドア開く音。電気つく。

そこには猫のみかづき。電気をつけたのはえるぎ。酔っぱらっている。

えるぎ ただいま。
みかづき おかえり。
えるぎ ……。
みかづき なに
えるぎ なんか、音してたけど。
みかづき あ、なんか、たいそうしてた。
えるぎ ん？
みかづき たいそう。
えるぎ ん？
みかづき たいそう。

えるぎ たいそう？

みかづき たいそう。

えるぎ ふーん。

みかづき ……。

えるぎ ちよつと、そこどいてみ。

みかづき え、なんで

えるぎ なんでも

みかづき どきたくないなー

えるぎ えい（魔法でだして）ご飯あるよ。

みかづき お腹すいてない。

えるぎ ふーん。えい（魔法でねこじやし）ほらほらほら（じやらして）えーい。

ああああああ（じやれついでしまう）

えるぎ はい、これなーんだ！！

みかづき いや、

えるぎ これはなんですか。これ。この液体。

みかづき いや、あの

えるぎ ……。

みかづき ……。

えるぎ もうさあ、もうしないっていったじゃん。ここはやめてっていつてるじゃん。

みかづき はい。

えるぎ やるなどはいわない。やるなどはいわないよ。でもね。でもさ、シェアしてわけじゃん？ルームを

さ、ルームシェアしてるじゃん？

みかづき はい。

えるぎ でき、そんなときにさ、きめたじゃん？ごはんのことと、ゴミのことと、男のこととさ、

みかづき はい。

えるぎ なんで破っちゃう？

みかづき 我慢できなくて？

えるぎ 外でいいじゃん！

みかづき 雨のときとか。

えるぎ 晴れてんじゃん。

みかづき さむいしさ。

えるぎ がまんしろよ。

みかづき うん。いや、でもさ

えるぎ なにさ

みかづき 今日は、誕生日だし、かえらないかもっていつてたし

えるぎ かえらなくても、やめてもらっていいですかー。

みかづき というか、きいていい？

えるぎ なにを

みかづき 大変ききずらいんですが

えるぎ なに

みかづき 大分酔っぱらってらっしゃるようですし

えるぎ 酔ってないけど。

みかづき　　なんでかえってきたの。
えるぎ　　ほうきで。

みかづき　　いや、手段の話じゃなくて、・・・箒で?????
えるぎ　　箒で帰ってきました！

みかづき　　なんで???

えるぎ　　箒で!!

みかづき　　うん。もうそれいい。

えるぎ　　しかも途中2回墜落しました！

みかづき　　えー、だめじゃん。

えるぎ　　うん。駄目だね。やっぱブランクあるとき。

みかづき　　え、てか何、なんなの。なんで箒なんかにとったりしたのさ。

えるぎ　　べつにいいじゃん。

みかづき　　よくないじゃん。ばれるじゃん。

えるぎ　　ばれてもいいもん。

みかづき　　よくないでしょ。

えるぎ　　ばれていい。もう一生処女でいい。

みかづき　　でた。でたよ。もう、なに、どうしたの。どうしたのさ。

えるぎ　　・・・た。

みかづき　　ん？

えるぎ　　ふられた。

みかづき　　まじで。

えるぎ　　彼女いた。

みかづき　　ありやー・・・

えるぎ　　だからさ、もう私。明日箒で出勤しようかとおもって。

みかづき　　えっちゃん。

えるぎ　　箒で空飛んで出勤してやろうとおもって。

みかづき　　えっちゃん。

えるぎ　　箒にまたがって飛ぶ30歳の魔女ツコをみて町中を震え上がらせてやろうかとおもって。

みかづき　　えっちゃん!!

えるぎ　　だって。

みかづき　　考えて。30で魔女ツコとかみんなにばれたら、処女捨てるとかホント無理だよ。一生魔女で一生処

女だよ。いいの、それで。

えるぎ　　.....

みかづき　　いいならいいよ。でも、いいの。それで。

えるぎ　　よくない。

みかづき　　帰りはみられなかった？

えるぎ　　多分。暗かったし、

みかづき　　大丈夫そう？

えるぎ　　それは、うん。

みかづき　　セーフ、セーフだよ、えっちゃん。大丈夫。次。次いこ。しまっていこー。

えるぎ　　みーちゃん、ないの。出会いなんてそうそうないの。

みかづき　　あるよ。あるある。探せばあるよ。

えるぎ どこに。
みかづき 公園とか。
えるぎ 猫はね。
みかづき まあね。

鳩時計。

みかづき 誕生日、おめでとう。
えるぎ 処女、魔女ツコ、30。
みかづき ま、まあさ、地道にいいこうよ。
えるぎ 一生こうなのかな。
みかづき まあでもまだチャンスはあるよ。
えるぎ そうかな。
みかづき そうだよ。だからさ、やけにならないで。ね。
えるぎ うん。
みかづき よし。
えるぎ おふろ入るわ。
みかづき うん。私ちよつと出かけていい？
えるぎ こんな時間に。
みかづき ちよつと、つづき。
えるぎ ん？
みかづき 行ってきます。
えるぎ 気をつけてね。

みかづき、去る。

えるぎ あー、えっちしたい。

音楽。

猫たちがなだれ込んでくる。
交尾のダンス。それぞれ絶頂

「いっっちゃう」
「いっっちゃう」
「いっっちゃう」

次第に人間になっていく。

「いってきまーす」

出勤する人々。行進する。
行進、改札をぬけて、駅のホームになる。

電車到着。電車に乗る人々。電車を降りる。雑踏。雑踏がはれると、そこはパン屋さんのバックヤード。ぱんち、るびい、まあむ、くろわが話している。そこにえるぎ。

えるぎ

おはようございまーす。

一同、えるぎを見る。

えるぎ

なに、どうしたの。

るびい

えるぎさん、魔女ツコだったんですね。

えるぎ

え???

るびい

箒で空飛んでたんですね。

えるぎ

え。あ、え??

ぱんち

あー、今な、えっちゃんがかし箒で空飛んで出勤してたって時のことはなしてたのよ。

えるぎ

え、あ、むかしね。むかし。10年くらい前ね。

くろわ

配達もしてたのよね。パンの。

えるぎ

むかしね。

るびい

すごいですよ。

えるぎ

すごくないよ。昔だし。て、なに、なんでそんな話になったの。

まあむ

なんか、昨日魔女ツコが出現したらしくて。

えるぎ

ほうきにのってとんでたんだって。

くろわ

へえー。

えるぎ

噂ですけどね。

まあむ

でもネットは炎上してましたよ。

るびい

ああ、マジョ宅ね。

くろわ

マジョ宅??

えるぎ

魔女のオタクのひとたちで、通称マジョ宅っていわれてるんですけど

るびい

へえ。

えるぎ

スポーツ新聞にも出てたのよ。「新人魔女上陸か!??」

くろわ

へえ。

えるぎ

で、もしほんとに新人魔女が上陸してたんだたらさ、えっちゃんときみたいに、住み込んでパン

ぱんち

の配達してくれたらいいのになっていったの。

えるぎ

えー。

えるぎ

売り上げのびかなってさ。

ぱんち

それはパンでどうにかしなよ。

えるぎ

あたしも今回コト言ったとこ。新作パン今全然出てないし。

くろわ

あー、味は悪くないと思うんだけどな。にしんパン。

ぱんち

え、えるぎさんって、え、住み込んでたんですか。

るびい

え、うん。

えるぎ

え、うん。

るびい

店長んちに??

ぱんち 親父の代のときな。
るびい やらしい。
ぱんち やらしくねえよ。子どものときだぞ。
るびい 子どもの時って
えるぎ 13のときからだから
るびい めっちゃやらしいじゃないですか。
ぱんち えー
るびい くらわさん、いいんですか。
くろわ まあ、結婚する前はね、お互い色々あるわよね。
るびい 大人。
ぱんち いや、俺は別になんもねえし。
えるぎ 私も何もないからね。
くろわ うんうん。
ぱんち いやいや。
るびい あー、でもえるぎさんが飛ぶのみたかったなあ。魔女とかみたことないですもん。
まあむ テレビでは、たまに見ますけどね。
るびい だよな。箒で飛ぶとか、もうテレビの世界だよな。
まあむ ですよね。
ぱんち でもまあ、新人魔女がさ、この町にきたっていうならさ、みれるかもじゃん。
るびい そっか。えー、なんか、テンションあがっちゃうなあ。
えるぎ あ、ぱんち、時間。
ぱんち お、仕事すっか。
全員 はい。

全員持ち場へいく。

みかづき てわけで、この前またばれたから、ほんときをつけてもらっていい？
猫1 うん。
猫2 でもそんなにあれなら、俺ら別に外でもいいけど。ねえ？
猫1 まあね。
猫2 おちつかないし。
みかづき ばっか。もー、ばっか。それが…！それがいいんじゃないか。そのおちつかなさ。そのスリル
猫1 が！！？？わかんない？
猫2 え、あ、そっち？なに、そういう系？そういうプレイ？？
みかづき まあそうね。
猫2 なんか二人とも大人だね。
猫1 でもなまじしやべれると大変だね。言い訳しなきゃだもんね。
みかづき そうそう、いいわけとかね、論争とかね。それは大変。
猫1 やー、でもやつぱうらやましいけどな。飼い主としやべれたらいいなっておもうもん。
みかづき そう？
猫1 うん。お腹すいたとか、身体洗ってとか、これ不味いとか、寒いとか、遊んでとか、わかんないじゃん。それやつぱ、大変だし。

みかづき　　そっか。そういわれると、そうか。そっか。

猫2　　そうだよなあ。俺も飼い主魔女ツコで会話できたらな、つておもうもん。

猫1　　そうだよな。

猫2　　うん。

みかづき　　まあ魔女ツコっていつても30だけどね。

猫1、2　　え、30？

みかづき　　やばいでしょ。びっくりでしょ。

猫1　　あーうん、そうだね、ちよつとびっくり。

るびいとえるぎとまあむが、パンやの売り場へ。

るびい　　やー、でもほんとびっくりしました。えるぎさん、魔女ツコだったんですね。

えるぎ　　いや、まあだから元ね、元。

猫1　　現役でしょ。

みかづき　　現役だよ。

るびい　　いつまで魔女つこだったんですか。

えるぎ　　20歳のとき。

みかづき　　でも20歳で、魔女じゃなくなったことにしてるから。

るびい、猫1、2　　へえー。

るびい　　やっぱり20歳くらいなんですネ。

みかづき　　やっぱり30で魔女とか言えないからさ。

えるぎ　　そうだね。だいたいみんな、それくらいかな。

るびい　　そうですね。20歳すぎて処女とかちよつとアレですもんね。

猫1　　確かに、30で魔女とかアレだもんな。

声　　デニッシュあがったよー

まあむ　　はあい

まあむ、去る。

るびい　　でもあれじゃないですか。まあむちゃんって、処女っぽくないですか。

えるぎ　　あー。

るびい　　恋バナとか全然乗ってこないし

えるぎ　　そうだね。

るびい　　恋バナしない女子とか何話していいかわかんないんですね。

えるぎ　　あー、ね。

みかづき でき、見栄っ張りだからさ、もう嘘つきまくりなわけよ。
猫2 嘘？

るびい ちなみにえるぎさんは今日もデートですか。
えるぎ あー、うん。

みかづき カレシ居るとか、デートいくとか。

猫1、2 あー。

みかづき そういいながら女同士でスポーツジムとかに行くわけよ、
猫2 それなんか、もてないスパイラルしてるかんじがするね。

みかづき ね。じゃあ、今日はどっちからする？
猫1、2 にゃあ！

るびい いいなあ。

えるぎ いやいや、あははははは

そこは、ジム。

えるぎ あー……。

あすなる なに、もうばてた？

えるぎ あー、うん。最近ちよっとさぼってたから。

あすなる わたしも。

えるぎ 忙しかったんだっけ。

あすなる そうそう展覧会と個展とコンクールともう全部かぶっちゃってさ。修羅場だった。

えるぎ 売れっ子。

あすなる 売れてないよー。出て行く一方だよ。しかもその間バイトもできないからさ、時間もお金もないっ
ていうね。もう30代にあるまじき状況だよ。

えるぎ でもがんばってるよね。

あすなる いや、もうこれしかやってきてないからね。しょうがないんだよね。

えるぎ えー。

あすなる まあとにかく一段落したからさ、遊びに行くよ。

えるぎ マジで？じゃあ鍋しよーよ。鍋。

あすなる 鍋いいねえ。

えるぎ 無敵だよ。鍋。私最近ずっと鍋。

あすなる え、なに、ひとりで？

えるぎ え、あー……色々？

あすなる 色々？

えるぎ 色々。

あすなる 相変わらずだね。

えるぎ いやあ。で、え、そっちはどうなの。

あすなる え、わたし？わたし処女膜再生しそう。

えるぎ エーなにそれ、進展ないの。なんだっけ。同窓会であつた…

あすなろ あー、あれかー、あれね、終わった。

えるぎ 終わった？

あすなろ うん。でもいいんだ。わたしいま、年上にぞつこんだから。

えるぎ え、なにそれ。

あすなろ 最近会つたひとなんだけどね。

えるぎ え、いや、でもあれじゃない。ペース早くない？

あすなろ うん。いまね、ちよつとあげてるの。

えるぎ ペース？

あすなろ うん。なんていうかさ、短距離走だと思うんだよね。ここからは。

えるぎ ん？

あすなろ 大人の恋はさ

えるぎ 短距離走？

あすなろ 一途に片思いとかさ、30歳がやるとき、もう怖いじゃん。重いし。

えるぎ まあね。

あすなろ 持久戦にもちこんでもさ、もうさ、無いじゃん、時間が。

えるぎ 30だしね。

あすなろ そうそう。だからこう、駆け抜けないと。もったいぶってられないなって。

とんぴ ねーちゃん。

そこにとんぴ。

あすなろ あ、

あすなろ。とんぴの所へ行く。とんぴ、あすなろに財布をわたす。

とんぴ はい、

あすなろ ごめーん。

とんぴ それ鍵も入ってるんだからさ、

あすなろ そうだよね。

とんぴ 財布無くて家は入れないとかもう絶望的だよ。

あすなろ だからごめんって。

えるぎ あ、の

あすなろ あ、これ、弟、覚えてる？

えるぎ だよねえ？

とんぴ え、あれ、えるぎさんすか？

えるぎ てか、おつきい。え、なに。だってこんなだったじゃん。

とんぴ そんなことないっすよ。

えるぎ どしたの、今日。

あすなろ ちよつと財布わすれてさ。

とんぴ ほんとなんでも忘れるんすよね。

あすなろ だからごめんって。ジュースおごるよ。
とんび いらねえよ。
あすなろ 遠慮すんなよ。えるぎもなんかいる？
えるぎ ううん。大丈夫。
あすなろ ちよつとまってる。
とんび だからいいって。

あすなろ、去る。

とんび もー、なんなんすかね、あれ。
えるぎ 喉かわいてんだよ。自分が。
とんび てか、あれっすね。かわんないっすね。
えるぎ そう？
とんび はい。
えるぎ とんびは何、いま何やってんの。
とんび 整備士です。航空機の。
えるぎ ちゃんとしてんね。
とんび あー、でもあれっすよ。えるぎさんの影響っすよ。
えるぎ え。
とんび かつこよかったっすもん。ほうきで飛ぶの。
えるぎ いやいやいや、
とんび ほんとですよ。俺、だいぶ懂れてましたもん。
えるぎ えー。いや、いいしそういうの。
とんび ほんとですって。あ、連絡先、教えてもらってもいいですか。
えるぎ え。いや、いいけど。
とんび こんど飯とかいきませんか？
えるぎ え、うん。
とんび あ、今ありますか？（携帯）
えるぎ あ、うん。

えるぎととんび、赤外線通信。

とんび じゃあ、さそいますね。
えるぎ うん。

えるぎ っていうのはさ、もうさ、どういうことなんだろうね。

そこはえるぎの部屋。とんびの人形がある。

みかづき どうって。
えるぎ だってさ、なんか、こう。こう。
みかづき え、なに、ふつうじゃないの。

えるぎ ふつうじゃなかった。ふつうじゃなかったよ。だって、こう。こうだよ。
みかづき うん。それでさ、なにこれ。

えるぎ
みかづき これ。

えるぎ
みかづき なんか、まあ、具現化した方が、わかりやすいかなっておもって
えっちゃん。

えるぎ
みかづき なに
気持ち悪い。

えるぎ
みかづき なんでよ。

えるぎ
みかづき しまつてよ、これ。こわいよ。
だいじょうぶだよ。

えるぎ
みかづき いやいや、だってなに、抱いて寝るき？
そういうわけじゃないけど。

えるぎ
みかづき 抱いて寝る気？
やー、でも必要だとおもうんだよ。

えるぎ
みかづき なにが。
練習？

えるぎ
みかづき 練習しとかないとき、いぎつてときき、いぎつてときね、対応出来ないと思うんだよね。
いぎつてときー？

えるぎ
みかづき だって、ほら処女だからさ、びっくりしちゃうじゃん。いろいろ。だからなん か、こうやって、
なれとこうかな、みたいな。(さわって、ふふふってわらう)

えるぎ
みかづき もつかいいっていい？きもちわるい。
きもちわるくないよ。

えるぎ
みかづき いや、きもちわるいよ。
きもちわるいかもしれないけど、切実なの。わたし、切実なのよ。土壇場で処女じゃんとかってな
ったらさ、アウトなわけよ。わかる？

みかづき
えるぎ でもこないよ、その土壇場。
くるよ。

みかづき
えるぎ きたことないじゃん。
きたことないじゃん。

みかづき
えるぎ きたことないけど、今度はくる。ていうか来させる。来させてみせる。
お、なんか気合い。

みかづき
えるぎ 大人の恋はね短距離走なんだって。
短距離走？

みかづき
えるぎ 時間が無いの。たらたら走ってる場合じゃないの。私ね、気付いたの。もうそんな暇はないんだっ
て。

みかづき
えるぎ まあね。もう30だからね。

みかづき
えるぎ わかってるよー！だから今回は、なにがあってもやってみせる！魔女も処女も、とんびで卒業して
みせる！
え、で、どうすんの。

みかづき
えるぎ 魔法をね、使っちゃおうかなって。
え。

えるぎ うん。

みかづき 魔法？

えるぎ うん。

みかづき それはさ、懲りたんじゃなかったの。あの、ばれそうになったとき。

えるぎ うん。でもさ、懲りてる場合じゃないって言うかさ、もうさ、無いんだよね。武器が。みんなのも

ってるやつが。

みかづき みんなのもってるやつ？

えるぎ つちかかってきた経験とか。体験とか。

みかづき あー。

えるぎ ゼロだからさ。まっさらだからさ。

みかづき うん。

えるぎ だからね、これしかないなって。

みかづき 具体的なプランはあるの？

えるぎ 例えば、突然、雨！私傘もってるよ！相合い傘、とかね。ウエイトレスさんの珈琲がバシヤ！あ！

うち、すぐだから、よってって、とかそして、土壇場に、もちこむ！みたいな。

みかづき なるほど。

えるぎ どうかね。

みかづき いいとおもう。けど、えっちゃんまほう下手じゃん。

えるぎ まあね。

みかづき このまえ箒から落ちたじゃん？

えるぎ ブランクあるからね。

みかづき つかえるの？

えるぎ そこなんだよね。

音楽。

しんげつとまんげつとみかづき。

猫 で？

みかづき 練習してる。

猫 土壇場の？

みかづき 魔法の。

猫 魔法の？

魔法の練習をするえるぎ

猫 魔法の練習って何すんの。

みかづき ほうきにのるとか

猫 ほうきにのる。

えるぎ、箒に乗る。

みかづき 天気を晴れさせるとか

猫 天気を晴れさせる？

えるぎ えい

人々 はれた！

みかづき 花を咲かせるとか

えるぎ えい。

桜が満開になる

あらた あ

人々 おおおお。

ニュースキャスター「ごらんください。この季節に満開の桜が出現いたしました」

みかづき 乗り遅れそうな電車を遅らせるとか

アナウンス ♪番線、ドアが開きます。ご注意ください。

えるぎ えい（魔法をかけて、走る）

アナウンス （ドアが開かない）ドアが、ドアが、ドアが……

えるぎ えい。

アナウンス 開きます。

ドアが開く。乗り込む人々。出勤するえるぎ。
と、まだ誰もきていない。

しんげつ 成功率は？

みかづき 五分五分？

しんげつ そっか

まんげつ 最近異常気象だもんね。

みかづき でも昨日は仕事の片付け瞬殺だったらしい。

しん・まん へえ。

みかづき だから、今日は早く行って、準備とか、魔法で全部やっちゃうっていった。

まんげつ ふうん。

魔法をつかうえるぎ。

えるぎ

えい

えるぎ、去る。

しんげつ　にしても処女必死だね。
みかづき　もうホント必死だよ。ちよつと怖いもん。
まんげつ　てかき、なんで処女なの。

みかづき　え。

まんげつ　ぶす？

みかづき　いや、ぶすじゃないとおもうけど

まんげつ　でぶ？

みかづき　そういうんでもないんだけど。なんか、なんでだろうね。

しんげつ　必死だから？

みかづき　それはあるかも。

しんげつ　あー、でもわかるかも、がつがつしてるときつてき、結構男子にこわがられない？

まんげつ　あー、それで、もういいかなーっておもってるのと寄ってきたりね。

しんげつ　ねー。

まんげつ　なんだろうね。あれ。

しんげつ　余裕、みたいな。

みかづき　あー、でもそうかもね。余裕はないわ。

しんげつ　へー、余裕のない30歳処女の魔女かー、みてみたいな。

まんげつ　わたしも余裕のない30歳処女の魔女みたい。

みかづき　まじで？余裕のない30歳処女の魔みにくる？

まんげつ　え、いいの？

みかづき　いいよ。おいだよ。

しんげつ　えー、いくいく

暗転。

明かりがつくと、パン屋さん。

ぱんち　えっちゃん。

えるぎ　……。

ぱんち　おねがい、正直にこたえて。

えるぎ　……。

ぱんち　ほんとうは、えっちゃんは、いまでもま

えるぎ　ちがうよ。

ぱんち　……いまでもま

えるぎ　ちがう。

ぱんち　……ま

えるぎ　ちがうよ！

ぱんち　じゃあ、じゃあなんでパン全部しょっぱいんだよ？！

えるぎ　しらない。

ぱんち　しらないでしよ。全部だよ。クリームパンもあんパンもジャムパンも全部だよ。

えるぎ　知らないよ。

ぱんち　知らなくないでしよ。これ、やったでしよ。10年前、親父の時、やってたでしよ、この失敗。もうね、

えるぎ …… この失敗ね、ここの中でできるのだからね。えっちゃんしかいないからね。

ばんち …… こんな、えー？もうしかもあれだよ。今日で午前中宅配頼まれてる、ウグイスパン、これもう、もうさ、どうすんの

えるぎ 焼き直そうよ。

ばんち そんな暇ないから。

えるぎ みんなでやれば

ばんち えっちゃん。この宅配できないの、本当に困るんだよ。戻せるんだろ。魔法で。あのときはそうした

もんな。

えるぎ ……

ばんち 頼むよ。

くろわ ちよつと、まだえっちゃんつてきまつたわけじゃ

ばんち お前はだまつてるよ。

ばんち、くろわを突き飛ばす。

ばんち えっちゃん。

くろわ ちよつとなにすんのよ。

と、突然くろわがキレる。止めようとしてるびいが投げ出され、るびいもキレて、大げんかに発展する。まあむ、間にはいつて止める。

まあむ すいません。それやったの、わたしです。

全員 え

まあむ 今朝、眠くて、

全員 え

まあむ あんまり覚えがないんですけど、たぶん、無意識に出ちやったんだと

ばんち え…なに？

まあむ 実はわたし、魔法使いなんです。

全員 えー…？

まあむ すいません。

全員わたわたする。

ばんち えつと、え、じゃあ、これ、戻せるってこと？

まあむ はい。すみません。えい。

みんなで食べる。

ばんち あまい。

くろわ あまい。

るびい あまい。

ぱんち、くろわ、るびい、感激する。ぱんち、我にかえって。

ぱんち あ、えっと、じゃあいそいで

まあむ 間に合いますか

ぱんち まあ、間に合わないけどでも

まあむ わたし、いつてきます。

ぱんち え。

まあむ とべるんで。

まあむ あー。

まあむ じゃあ、いつてきます。

まあむ、去る。

まあむが飛ぶのを全員見送り、

全員 わーお。

そして、しばし、啞然。

るびい ……まあむちゃん、魔女っこだったんですね。

ぱんち な。

くろわ びっくりした。

ぱんち だな。

えるぎ 魔女っこ………？

ぱんち えっちゃん、ごめんな、疑って。

えるぎ え、あ、ううん。

ぱんち えっちゃんがまだ現役なわけないもんな。冷静に考えればわかることなのに、ごめん、俺、てんぱって。

えるぎ いや、うん、大丈夫。

ぱんち 俺、もうびっくりして

えるぎ うん、もういいから。

るびい にしてもまあむちゃん、処女っぽいとおもってたけど、まさか

くろわ 噂の新人魔女ってまあむちゃんだったのね。

るびい すごいですね。うちのおみせ、元魔女と現魔女。

くろわ そうね。

ぱんち これって、売り出せねえかな。

ぱんち ・くろわ え

くろわ それは、あれ？元魔女の配達技術を伝授して、現魔女が届ける、みたいな。

ぱんち そう。

えるぎ え、いや、あの

るびい 焼きたてのパンと、ほんの少しの奇跡をあなたに。みたいな？

ぱんち それいいな。

くろわ それいいね。
るびい ほんとですか。
ばんち 売り出しちゃうか。

音楽。

ブレイクまあむダンス。

まちのひと 鳥だ。

まちのひと 飛行機だ。

まちのひと いや、空飛ぶまじよだ。

まあむ おとどけにありがとうございました。

まあむ、まちのひとにパンをわたす。

まちのひと 魔女っこさん、ありがとう。

わたす。

まちのひと 今時魔女なんてめずらしいわね。ありがとう。

わたす。

まちのひと わたし、ニシンのパン好きじゃないのに。でもありがとう。

わたす。

まちのひとたち 魔女ッコさん、ありがとう。

くろわ 焼きたてのパンと、ほんの少しの奇跡をあなたに。

るびい 魔女が配達するあなたのまちのぱんやさん。

くろわ、るびい ぐーちよきばんち。

声 はい、カットー

おつかれさまでしたーと、色々出てくる。

そこはスタジオ。

ばんち まあむちゃん、おつかれ

まあむ あ、おつかれさまです。

くろわ いやあ、もうほんとたすかかってるよ。売り上げめっちゃ伸びたし

まあむ 本当ですか。

ばんち　ほんとほんと。もうまあむさまさまだよ。

まあむ　お役に立ててよかったです。

るびい　もつとはやくいってくれたらよかったのに。ですよ？

えるぎ　え、あ、うん。そうだよ。

まあむ　いや、でもはずかしくて

るびい　えー？

まあむ　20才で魔法使いとか

るびい　何、ぜんぜんいいじゃん。だって魔法使いなんですよ。すごいじゃん。

ばんち　そうだよ。だいたい20歳なんてもうね、俺らからみたら、もう、なあ？

えるぎ　え、うん。まあ。。。

声　まあむさん、撮影お願いしマース。

まあむ　あ、はい。

えるぎ以外、みんな、去る。

気がつくとき、あすなるが居る。そこはえるぎの部屋の台所。

あすなる　じゃああれなんだね。えるぎのパンや。魔女二人。

えるぎ　まあ私は元だけだね。

あすなる　元でもさ。え、なに、偶然？

えるぎ　いや、一応向こうは私のこと知ってて、

あすなる　そうなんだ。え、ファンだったってこと。

えるぎ　そういうんじゃないけど、まあ、元魔女いるところでバイト募集したら、まあ、

あすなる　そんなもん。

えるぎ　うん。

あすなる　で、どうなの。

えるぎ　え。

あすなる　じゃえらっちゃってんじゃないの。

えるぎ　えー、いやそういうわけじゃないけど。

あすなる　いいよいいよ、いっちゃいなよ。

えるぎ　まあ、思い出しちゃうよね。魔法使ってたときのこと。

あすなる　それだけー？

えるぎ　あとまあ、……小娘が！みたいなきもちはあるよね。

あすなる　いったー。

えるぎ　わたしが初代だぞーみたいなの。

あすなる　そうだよね。でもわかるなあ。私も新人がちやほやされてると、なんか色々思うもん。

えるぎ　そうなんだ。

あすなる　うん。でもやっぱり、今の自分だからもってるものがあるわけだからね。って、

なんか、納得させていくしかないよね。

えるぎ　うん。そうだね。

あすなる

てか、えるぎなんてさ、魔女卒業してさ、それで恋とか沢山してさ、ちゃんと充実してるんだからさ、もう全然いいじゃん。っておもちちゃうけどね。

えるぎ うん。まあ、そうなんだけどね。

みかづき帰宅。

みかづき ただいまー。

えるぎ おかえり。

あすなろ あ、みーちゃん。

みかづき あ、あすなろ。

あすなろ ひさしぶり、おぼえてる？

みかづき あいかかわらずもてなそうだね。えい。

あすなろ なに、あそんでほしいの？

まんげつ、しんげつもぞろぞろと。

まんげつ おじやましーす。

しんげつ こんにちは。

えるぎ え。

あすなろ あれ？おともだち？

しんげつ (あすなろに) あ、魔女で処女？

まんげつ え、なに、何で処女なの？

あすなろ かわいー。

みかづき いや、そっちじゃないから。こっち

まんげつ、しんげつ え

まんげつ え、あ、そうなの？

しんげつ あ、魔女で処女???

まんげつ 魔女で処女???

まんげつ、しんげつ、えるぎに群がる。

あすなろ あー、やっぱりえるぎのほうがいいんだね。

えるぎ いや……。

しんげつ 魔女で処女。(ウケる)

まんげつ 魔女で処女。(ウケる)

あすなろ いーなあ。

えるぎ ははは……。

あすなろ あ。(携帯みて) あー!!

えるぎ え、

あすなろ メール来た。
えるぎ え。
あすなろ 年上のひと。
えるぎ ええ!!!
あすなろ (よんで)なんか、今、みんなで飲んでるって。
えるぎ え?
あすなろ ……
えるぎ いってきなよ。
あすなろ いい?
えるぎ いいよ。
あすなろ ごめんね。
えるぎ いやいや。
あすなろ こんどおごる。
えるぎ うん。
あすなろ また電話するね。
えるぎ うん。
あすなろ じゃ。
えるぎ じゃ。

あすなろ、去る。

みかづき なに、あすなろ、男できたの。
えるぎ えっと
みかづき あ、ともだち。
しんげつ しんげつです。
まんげつ まんげつです。
みかづき 30歳処女の魔女みたいっていうからさ。
えるぎ は?
しんげつ うん。でもわかるかも。
まんげつ あー、ね。
えるぎ なにが。
まんげつ なんか、かわいてる?
えるぎ かわいてる?
しんげつ かさかさしてるね。
えるぎ かさかさ?
みかづき まあセックスしてないからね。
しん・まん あー。
まんげつ まあさ、早くセックスしちやいなよ。
えるぎ そのつもりですけど。
みかづき そのつもりなんだよ。
しんげつ そうだよ。それで魔法とかもがんばってんだもんね。
まんげつ でもあれだよ。魔法は今魔女コマあむがきてるよ。

しんげつ あー、最近すごいよね。CMとか。
まんげつ 昼の番組にもレギュラーでしょ。
しんげつ ドラマ化もするんでしょう。
まん・しん ねー。
えるぎ わたしだって、若いときは
みかづき えっちゃん、それいいはじめたら泥沼だよ。
えるぎ だって
しんげつ え、でもあれでしょ、魔女で勝負したい訳じゃないんですよ。
えるぎ え。
まんげつ そうだよ。男とやるために魔法の練習してるんですよ。
えるぎ まあ。
しんげつ じゃあ、女として勝てばいいじゃん。
みかづき そうだね。
えるぎ そうか。
しんげつ そうだよ。
えるぎ そうだよね。
みか・まん・しん うん。
えるぎ うん。
まんげつ てかき、どんな男なの。
えるぎ え
まんげつ そのひと
えるぎ えー、あのね、えい。

とんぴ人形。でてくる。

みかづき ああああああ。
まんげつ イケメンじゃん。
しんげつ いいじゃん。
えるぎ で、懂れてましたとかいわれて、
まんげつ え？？
しんげつ いいじゃん。
えるぎ 今度ご飯行こうってなって。
まん・しん うん。
えるぎ 連絡先交換して
まん・しん うん。
えるぎ それから、連絡なくて
まん・しん あー。
しんげつ でも連絡無いならさ、こっちからしたらいいんじゃないの。
まんげつ そうだよね。
みかづき そう言ってるんだけどね。
えるぎ でも
しんげつ あ、携帯かわいい。

えるぎ え。
しんげつ ちよつとみせて。
えるぎ うん。

しんげつ、電話をかける。

えるぎ わあああああああああ
とんぴ あ、もしもし
えるぎ え、あ、え
とんぴ もしもーし
えるぎ ああ、あ、ごめんね、電波わるくて
とんぴ ああ。え、どうしました。
えるぎ あ、いやっ…あのっ…ごはんっ…いつ、
とんぴ え？あれ、電波かな。もしもーし。
えるぎ はい。もしもし。
とんぴ ああ。あ、あの、えるぎさん、来週ってあいてますか。
えるぎ らいしゅう。
とんぴ 土曜日とか
えるぎ あ、うん。
とんぴ あ、あの、よければ、ごはんたべにいきませんか？
えるぎ え、うん。いいけど
とんぴ ほんとですか。じゃあ、どうしようかな。時間とか
えるぎ わたしは何時（なんどき）でも。
とんぴ いきたいところがありますか。
えるぎ どこへでも。
とんぴ じゃあ、あたりつけて、また連絡しますね。
とんぴ うん。
とんぴ じゃあ。
えるぎ うん。

切る。とんぴ、元にもどる。

えるぎ ごはん、土曜日、たべようって

猫たち、盛り上がる。

セックスセックスってことと去る。

そこはパンや。

るびい あれ？えるぎさん、今日めっちゃ気合い入ってますね。
えるぎ え、そう？
るびい はい。デートですか。

えるぎ いや、デートじゃないんだけど。
るびい あ、ですよ。男受けて感じじゃないですもんね。
えるぎ え。
るびい 男子には、もつと

声 メロンパンあがったよ。

るびい はーい。

るびい、去る。

えるぎ え、あ、え???もつと???

お客さんが来る。

えるぎ あ、いらしゃ・・・

それはとんぴ。

とんぴ あ、どうも。
えるぎ え、嘘どうしたの。
とんぴ 仕事で近くまで来たんで、えるぎさん、いるかなっておもって
えるぎ えー。
とんぴ まだここで働いてたんすね。
えるぎ うん。え、てか来たことあったっけ。
とんぴ 中学んときとか。
えるぎ そっか。え、買っていく?
とんぴ あー、そうですね。
えるぎ 何にする?
とんぴ そうですねー、

そこにまあむ。

まあむ いらつしやいませー。

とんぴ え、あ!

まあむ え

とんぴ 魔女っ子さん、ですよ。

まあむ え、あ、はい。

とんぴ うーわ、本物だ。握手してもらってもいいですか。

まあむ はい。

まあむととんぴ、握手。

とんぴ え、職場一緒だったんですか。

えるぎ あ、うん。

まあむ あ、お知り合いですか。

えるぎ うん。友達の弟。

まあむ そうなんですネ。

とんぴ はい。あ、あの、こんどえるぎさんとご飯たべに行くんですけど、一緒にどうですか。

まあむ・えるぎ え？

まあむ、えるぎをみる。えるぎ、まあむに目配せ。まあむ、了解、の様子。

まあむ はい。べつに、時間があえば。

えるぎ、がつくし。

とんぴ ほんとですか。

まあむ はい。

とんぴ よかった。職場の先輩で、すげえ魔女好きなひとがいて、魔女宅とか入ってるひとなんですけど、会わせてあげたいんですよ。つれてきてもいいですかね。

まあむ はい。

ああ、ありがとうございます。じゃあ連絡先交換していいですか。

まあむ はい。

とんぴ いまありますか。

まあむ はい。

まあむととんぴ、番号交換。

とんぴ じゃあ、連絡しますね。

えるぎ ていうのはぎ、もうぎ、どう、どういうことなんだろうね。

えるぎの部屋。みかづきとまんげつとしんげつ。とんぴ人形もある。

みかづき まあ、普通ってこと、だよネ。

えるぎ え、こう、これ、これ、普通ってこと？

まんげつ まあ普通だよネ。

しんげつ 普通だね。

えるぎ 普通ね。普通か。

みかづき ほら、だからいったじゃん。

えるぎ ごはんいくとかも、普通？

しんげつ あ。その発言処女っぽい。

えるぎ え

しんげつ ひゅー☆

まんげつ まあ、ふつうじゃない？

みかづき ふつうだね。

えるぎ そっか。

まんげつ まあでも、4人でご飯っていうのはさ、別にわるくないよね。

しんげつ うん。全然いいと思う。バランスもいいし。

みかづき ああ、そうだね。

えるぎ え、どういうこと。

しんげつ にやんにやん(2, 2)でくっつけばいいってこと。

えるぎ にやんにやん？

そもそも、とんびはさ、その、新人の魔女と、自分の先輩を会わせたいとか、まあ、くっつけたい、とかそういうことなんですよ。だったらいいじゃん。

あー、むしろ逆にいいかもね。

ぎやくに？

まんげつ あっちふたりをくっつけようとして、こっちでにやんにやんしちゃうっていうパターンだよ。
みかづき いいねえ。

えるぎ は、え、なにそれ。

しんげつ たとえば、二人に空中散歩させるとか。

えるぎ 空中散歩？

みかづき あ、箒にのせてもらっちゃいなよ、みたいな？

そうそう。

あー、うん、うん、で？

で、ふたりになって

えるぎ うんうん。

しんげつ その間にセックス。

えるぎ 早い！早いよその展開。その展開は早い！！

えー、そう？

別に行けると思うけど。

だってそれ、どこ、どこでするのさ

公園

公園

だめ？公園。

公園は、ちよっと。人間は公園はちよっと。

人間でもしてるじゃん。

してるよね。

うん、でもその人達は、あれだから、上級者だから。

へえ。

はじめてで公園はちよっと。

めんどくさいなー。

じゃあラブホは？

ラブホ。

しんげつ はじめてをラブホって普通だよな。

まんげつ　だよね。
みかづき　うん。どう？
えるぎ　それはながれが。
しんげつ　ながれ？
まんげつ　え、ふたりになれたらからラブホいこ？ってんじゃだめなの。
えるぎ　それちよつと、初心者でそれちよつと。
みかづき　えー、じゃあどうすんのさ。
えるぎ　なんか、しぜんな流れで家に来て、とか。
みかづき　しぜんなながれー？
しんげつ　あ、じゃああれじゃない？送ってもらったりしたらいいんじゃない？
まんげつ　私酔っちゃった。みたいなやつ？
しんげつ　それそれ。
まんげつ　古典的ー。
えるぎ　ああ、うん。うんでもそれなら。
みかづき　いけそう？
えるぎ　うん。あ、でも、4人いるから、
まんげつ　それはあっちも酔わせちゃえばいいじゃないの？
えるぎ　え。
まんげつ　男の方を酔わせて、まあむに箒で送らせちゃうとかさ。
みかづき　酔わせるってどうやって？
えるぎ　えっちゃん、なんのために、魔法の練習してきたのさ。
あ。
みかづき　魔法でえい、だよ。
えるぎ　そっか。そっか！！えい。
まんげつ　「ぼく酔っちゃった。」
しんげつ　で、ねらってない方の男がそうなって、そこで、まあむが「わたし、箒でおくっていきます」って
びゅーんってなって、ふたり。
えるぎ　あ、わたしも、ちよつと、酔っちゃったかも
みかづき　じゃあ、送りましょうか。
えるぎ　ありがとう。
しんげつ　で、だめ押しで雨とかふらせてさ、相合い傘してさ、くっつきながら家に帰ればいいんだよ。
えるぎ　相合い傘。
みかづき　僕もつよ。
えるぎ　ありがとう。
みかづき　ぬれちゃうよ。もっとこっちにおいでよ。
えるぎ　ああん。
まんげつ　もうそれからはね。
しんげつ　いわずもがなですよ。
まんげつ　いえについてね。
みかづき　えるぎさん、僕もう
えるぎ　ああ、とんび：っ！
まんげつ　いいじゃん。

しんげつ　かんぺきじゃん。
えるぎ　……いけるかも。
みかづき　がんばって。
えるぎ　わたし、長めにお風呂入ってくる。
みかづき　うん。わたしもちよつと出かけていい？
えるぎ　え。
みかづき　ちよつと、興奮してきた。
しんげつ　わたしも。
まんげつ　わたしも。
みかづき　あと、もうお互い部屋えつちは解禁だよね。
えるぎ　え、……うん！
みかづき　じゃあいつてきまーす。
えるぎ　きをつけてね。

猫たち、去る。

えるぎ　よし。えつちする。

えつちなダンス。

に、いくとおもいきやの。

転換。

りつきー　あの、今日はありがとうございます！！

ほんと、もう、魔女っこさんにあえて、おはなし聞けて、凄くうれしかったです。ありがとうございます。
まあむ　そんな、こちらこそ今日はごちそうさまでした。

りつきー　いや、もうそんな。

えるぎ　すごくおいしかったです。

とんび　てか僕までごちそうになっちゃって、すみません。

りつきー　いいんだよ。とんびくんは、ほんとこんな機会をつくってくれて。感謝してもしきれないよ。

とんび　いや、僕は全然。

りつきー　ありがとう。

とんび　ほんと、なんもしてないですから。

えるぎ　まあむちゃん、今日は箸できたの？

まあむ　え、はい。

えるぎ　ご馳走になったお礼にさ、りつきーさんのせてあげたら？

まあむ　え？

りつきー　え、いや、そんな。

えるぎ　でも、ご馳走になりっぱなしっていうのも、ねえ。

まあむ　そうですね。こんなんでお礼になるなら、ですけど、よければ

りつきー　い、いいんですか。

まあむ　はい。全然。

とんび　わ。すげえ。

りつきー
まあむ
はい。

僕、夢だったんです。

りつきー
りつきー先輩、よかったじゃないですか。

りつきー
とんびくん、とんびくんのおかげで、夢が、夢が……

僕は何も

まあむ
そんな、たいそうなあれじゃないんですけど。じゃあ、その辺2、3週して

えるぎ
あのさ、あそこみせてあげなよ。時計台と海がみえるところ。

まあむ
あー、あの景色はたしかに。

えるぎ
今の時間帯ならさ、ライトアップしてるしさ

まあむ
そうですね。じゃあ、いきましようか。

りつきー
え？

まあむ
公園からフライトしますんで

りつきー
あ、はい。じゃあ。

とんび
いってらっしゃい。

えるぎ
ごゆっくり。

りつきーとまあむ、去る。

とんびとえるぎ、ふたりきり。

とんび
今日は、ありがとうございます。

えるぎ
ううん。こっちこそ。

とんび
先輩もめっちゃよろこんでくれて。

えるぎ
よかった。

とんび
あ(とんでる)

えるぎ
あー。

ふたりで手を振る

とんび
先輩、超はしゃいでる。

えるぎ
ほんとだ。

とんび
えるぎさんって、最初に空飛んだとき、どう思いました。

えるぎ
あー。すごーいっておもった。世界ってすごーいって。あと、わたしってすごーいって。

とんび
あーなんか、僕もそうおもった気がします。

えるぎ
え。

とんび
えるぎさんが飛んでるの、初めて見たとき。世界ってすごーいって。あと、あのひとすげーって。

えるぎ
いやいや。

とんび
あー、たぶん、それが僕の原点なんですよね。

えるぎ
原点。

とんび
落ち込んだりしてても、もやもやしてても、えるぎさんが飛んでるの見た日は、なんか、気が

晴れて、わかんないけど、大丈夫っておもえて。今日も大丈夫って思えて。それから、空ばっかり

みるようになって、飛行機にも、興味持つようになって。気がついたらもう飛行機まっしぐらで。

えるぎ そうなんだ

とんび はい

えるぎ すごいね。とんびは。

とんび いやいやいや。てか、空とんでた人に言われても。

えるぎ いや、わたしはさ、ちゃんと選んできたってわけじゃないからさ。別に好きとか、やりたいとか、そういうんじゃないんじゃないかな。そんなことないんじゃないですかね。

とんび え。

とんび たのしそうでしたよ。飛んでるの。

えるぎ そう？

とんび はい。

えるぎ そうだったかも。

とんび そうですよ。

えるぎ そうか。

とんび あー、なんか、あれですね。ちゃんと話すの、はじめてですね。

えるぎ そうだね。あのさ、また、ご飯とかいこうよ。

とんび そうですね。

えるぎ ……あの、ふたりになれたから、ラ・・

もどつてくるりつきーとまあむ。

まあむ ただいま。

とんび あ、おかえりなさい。

えるぎ おかえり。

とんび どうでした。

りつきー 感激だった。

とんび わあ、いいなあ。

りつきー 本当にありがとうございます。

まあむ いえいえ、よろこんでもらえてよかったです。

りつきー 思ったより安定感あるっていうか。

まあむ あ、そうなんですよね。浮いてる筈に乗るっていうよりは、魔法で一緒に飛んでるので。

りつきー そうなんです。

えるぎ 寝てる人とかでも運べるよね。

まあむ そうですね。

えるぎ 例えば、誰かが急に酔いつぶれても、運べるよね。

まあむ そうですね。大丈夫ですね。

とんび へえ、便利です。

まあむ そうですね。

りつきー 本当に今日はありがとうございます。

まあむ こちらこそ、ごちそうさまでした。

えるぎ じゃあ、ぼちぼちいきましようか。

まあむ そうですね。

とんび あ、じゃあ、ぼくここで。
えるぎ え。
とんび 自転車あっちにおいでるんで。
えるぎ 自転車なの？
まあむ あ、じゃあおつかれさまでした。
りつきー とんびくん、今度別でお礼させて。
とんび いいですって。

えるぎ、慌てて、雨をふらせる。

とんび あれ？
まあむ あ、え、これ結構
えるぎ あ、とりあえず、あっちに。

4人、あまやどり。

まあむ 急に来ましたね。
とんび そうですね。
えるぎ 自転車、置いていったほうがいいかもね。
とんび ですね。
えるぎ わたし、酔っちゃったかも。
とんび え、大丈夫ですか。
リッキー 大丈夫ですか。送りましょうか。
えるぎ え、あ、うん。大丈夫。
まあむ やみますかねー。
りつきー そうですねー。

えるぎ、後ろから、リッキーに魔法をかける。

とんび あれ、ぼくも急に酔いが回って……。

とんび、倒れる。

えるぎ えええええ？
りつきー あれ？とんびくん？
まあむ 大丈夫ですか？
とんび だいじょうぶだいじょうぶ……。
りつきー え、そんなに飲んだ？
とんび ちよつとやすめば。
まあむ わたし、ほうきで送っていきましようか。
えるぎ え。
とんび ほうきで？

まあむ はい。
とんぴ え、そんな、いいんですか。
まあむ はい。大丈夫ですよ。
えるぎ あ、でも、雨ふってるし。わたし、傘あるから。
まあむ 平気です。わたしバリアできるんで。
えるぎ バリア。
まあむ いきましようか。
とんぴ ありがとうございます。

まあむ、とんぴ、去る。

えるぎ ……バリア。

残される、りつきーとえるぎ
目がある。

えるぎ あ、はいります？
りつきー はい。あの、きょうは、ありがとうございました。
えるぎ あ、いえ、
りつきー すごいのしかったです。
えるぎ あ、はい。わたしも。
りつきー 憧れの魔女のひとに会えて、本当にうれしかったです。
えるぎ ああ、まあむちゃん。ね。
りつきー あ、まあむさんも、そうなんですけど、でも、ぼくは、えるぎさんと、こー、あえて、よかったです。
えるぎ え、あ、わたしは、そんな。元ですから。

りつきー ああ……。
えるぎ はい。
りつきー ……。
えるぎ ……。
りつきー でも、あの、元じゃないですよね。
えるぎ え
りつきー あ、いや。僕、みちゃったんですよ。
えるぎ え？
りつきー いや！全然、そんな、見ようと思ってみたわけじゃないんですけど、みえちゃったんですよ。ごめんなきい。
えるぎ なにが

雨、降らせたくないですか。

え。

雨。

そんな、ふらせてないですよ。

りつきー 降らせたくないですか。こー。

えるぎ　ちがいますよ。わたしは、こう、こうただけで、そんな、もう魔法なんて
りつきー　こうでした。えるぎさんは、「　」のときも「　」のときも「　」のときも、
これで、こう、これで、魔法をつかう、魔法使い、ですよね。　「のときも、
えるぎ　え。

りつきー

それで、今日も、こう、これで、雨が、ざーって。

えるぎ

「　」のとき？」

りつきー

あのと、き、ぼく、すごく、ファンでした。

えるぎ

わたしの？

りつきー

はい。

えるぎ

……。

りつきー

間近でえるぎさんの魔法を見ることが出来て、僕、すごく、嬉しかったです

あと、魔女ツコで、えるぎさんが、まだ、魔女ツコで、僕はすごく、うれし

かったです。すごく、すごく。

えるぎ

……。

えるぎ、傘をはずして、

えるぎ

えい。

天気が晴れる。りつきー、驚く。

えるぎ

あの、わたし、内緒にしてるので、

りつきー

あ、はい。

えるぎ

だまってもらっても。

りつきー

はい。それは、はい。ぼく、言わない人なんで。それは、大丈夫です。

えるぎ

ありがとうございます。

りつきー

そんな、ぼくこそ。

えるぎ

いや、ほんとに、ありがとうございます。

りつきー、えるぎ、歩き始める。

りつきー

あの、今日、これから魔女研究会っていうのがあって

えるぎ

魔女研究会？

りつきー

魔女の、ファンクラブみたいなもので

えるぎ

ファンクラブ？

りつきー

通称マジョ宅ってよばれてるんですけど

えるぎ

あ、きいたことあります。

りつきー

えるぎさんのファンのひともたくさんいますので。

えるぎ

え。

りつきー

よかったら、ご一緒に。

えるぎ

え、いや、でも、わたし魔女だって内緒にしてるので、

りつきー

いや、でも僕言わない人なんで。

えるぎ はあ、じゃあ、まあちよつとだけなら。
りつきー こちらが！！30歳で魔法のえるぎさんです！！！！

そこは魔法宅会合。

えるぎと、りつきーと、マジヨ宅5人。

マジヨ宅たち超感激のリアクション

えるぎ え、い、いわないって

りつきー 大丈夫です。みんな言わない人なんです。ですよね。

マジヨ宅達 はい。

えるぎ えええええええ。

マジヨ宅たち、口々に、えるぎさんだ、えるぎさんだ、と。

マジヨ宅1 あの、えるぎさんは、30年間魔法を守られてきたって本当ですか

えるぎ ええ、ああ、（小声で）はい、はい。

マジヨ宅達 （感激のリアクション）

マジヨ宅1 感激です。

マジヨ宅3 魔法ツコの鑑ですね。

マジヨ宅4 30歳の魔法ツコなんて、超レアじゃないですか。

マジヨ宅5 激レアですね。

えるぎ え、あ、いや、

マジヨ宅2 あの、男性と、関係をもちたいとは思わなかったんですか？

えるぎ え、あ、お、思ったこともあったんですけど。修行をしているうちに、そういう

気持ちにはなくなりました。

マジヨ宅達 （リアクション）

マジヨ宅3 えるぎさんは、これからも、魔法を貫いていくんですか

えるぎ もちろんです。わたしは、あの、魔法に誇りをもっているのです。

マジヨ宅達 （リアクション）

マジヨ宅4 でも、あれ、隠されてらっしゃいますよね。

えるぎ あ、の、あれは、掟で。

マジヨ宅達 掟。

えるぎ 20歳までは、修行の一貫として、こう、見せていくっていうんですか？PRも含めて、魔法が世の

中にいますよっていうPRも含めて、公開して、活動していくっていうことになってるんですけど

ね、20歳すぎると、隠して、世間に身を隠して、魔法も見せびらかさないで、やっていくっていう

のが、掟になっているんです。

マジヨ宅達 （リアクション）

マジヨ宅2 じゃあ、あの、本当は、20歳を過ぎて、魔法の方も沢山

えるぎ はい、たくさんいます。

魔法達 （リアクション）

マジヨ宅 新情報きましたね。

マジヨ宅5 レア、レア情報。

えるぎ　あくまで秘密ですよ。秘密の話ですけどね。
マジヨ宅2　はい。ありがとうございます。

マジヨ宅3　でも、実際に辞めちゃう方も結構いらっしやるんですよ。

えるぎ　まあ、中には、そうですね途中で挫折っていうんでしょうか。辞めてしまわれる方、いらっしやいますね。

マジヨ宅3　そうですね。

マジヨ宅4　でもえるぎさんは

えるぎ　私は、魔女として、誇りをもっているの。

マジヨ宅達　（感嘆の声）

りつきー　あの、よければ、えるぎさんの魔法を、みんなに見せてあげてもらえませんか。

えるぎ　え。

マジヨ宅達　（リアクション）

マジヨ宅3　あの、わたし、飛ぶところがみたいです。

マジヨ宅4　ああ、わたしも！

りつきー　ああ、僕も、飛ぶところみたいです。えるぎさんが飛ぶの、凄く凄く好きだったんです

えるぎ　え、あ、でも

リッキー　おねがいできませんか。

マジヨ宅3　ちよつとでいいんです。おねがいます。

マジヨ宅1　えるぎさん。

マジヨ宅2　えるぎさん。

マジヨ宅4　おねがいます

マジヨ宅5　おねがいます

えるぎ　まあ、じゃあ、そのうち

拍手。

マジヨ宅2　じゃあ、来週でもいいですか。

えるぎ　来週？

マジヨ宅3　来週いいね。人数も集まるし。

マジヨ宅4　ね。

マジヨ宅1　（はんだるねーむ）さんも来るし。

えるぎ　（　）さん？

マジヨ宅2　（　）さんって、昔まじよつこと住んでたひとがいて

マジヨ宅3　え、てか（　）さん今日来るんじゃない？

マジヨ宅4　え、そうだっけ。

そこにはんち。

マジヨ宅1　あ、（　）さん。

りつきー　（　）さん。こちら、30歳で現役魔女ツコのえるぎさん。

はんち　えっちゃん。

えるぎ ぱんち。

シーン変わってぱんちとえるぎ。居酒屋。

ぱんち ……魔女ツコだったんだ。まだ。

えるぎ まあ。え、てかマジヨ宅だったんだ。

ぱんち まあ。

店員 「なまふたつ」

ぱんち じゃあとりあえず。おつかれさまー。

えるぎ はーい。

二人、乾杯してのむ。

ぱんち え、ずっと嘘ついてたってこと

えるぎ そっちもじゃん。

ぱんち まあ俺のはさ、たいした嘘じゃなくね？

えるぎ いや、むしろだから、なんでそんな嘘ってかんじなんだけど。

ぱんち だってあいつが嫌がるからさ

えるぎ おくさん？

ぱんち うん。まあ一緒住んでたのとかさ、気にしてっから。

えるぎ あー、愛されてるね。

ぱんち 愛されていると言うか信用されていないというか

えるぎ あー

ぱんち まあ、昔俺がお前のこと好きだったの知ってるし。

えるぎ え。

ぱんち それで魔女宅とかしれたらさ、もうさ。

えるぎ あの。

ぱんち っーかさ、お前、まだ処女ってこと？

えるぎ まあ。

ぱんち へえ。

えるぎ なに。

ぱんち いや。

えるぎ なによ

ぱんち いや、あの、昔さ、部屋きてさ、「魔女じゃなくなったんだ」っていったじゃん。

えるぎ うん。

ぱんち あれはさ、

えるぎ 嘘。

ぱんち 嘘か。

えるぎ 嘘だね。

ぱんち そっか。え、ずっと嘘ついてたってこと。

えるぎ まあ。
ばんち なんて。
えるぎ だから、まあ、掟で。
ばんち あ、そうか。
えるぎ うん。ていうかき、私のこと好きだったって。
ばんち な。
えるぎ え、あの、
ばんち まあ、むかしな。
えるぎ あー、うん。
ばんち つーか……あー、やっぱいいや。
えるぎ えー、なにになに。
ばんち いいいい。
えるぎ だめだよ。なに。
ばんち いや、なんかさ、すげーって思ったんだよ。俺、お前が、魔女じゃなくなったっていったとき。
えるぎ なんで。
ばんち すげえじゃん。なんか、ひとと違うもん背負っててさ、それを、あっさり手放すっていうの？そう
えるぎ いうかんじがさ、なんかさ。
ばんち そうなんだ。
えるぎ まあ、そうだな。そんなとき、結構ふらふらしてたから。
ばんち あの、ときだよ。音楽してた。
えるぎ そうそうバンドとかな。才能なかったし、今思えば本気じゃなかったんだけどな、でもお前見て、
ばんち おれも、なんかだめだなんておもったし。それで、パンや、継ごうっておもったし。
えるぎ そうなんだ。
ばんち そうだな。
えるぎ 責任重大。
ばんち まあな。
えるぎ 嘘だったけど。
ばんち 嘘だったけどな。
えるぎ ごめん。
ばんち まあ、言っただけだったのは、あるけど、まあね。べつに。うん。
えるぎ ごめん。
ばんち 掟ならな、しょうがないもんな。
えるぎ うん。
ばんち ずつとき、修行してきたんだろ。
えるぎ いや、うん。
ばんち そっか。すげえな。
えるぎ いや。
ばんち 楽しみにしてるわ。えっちゃんが飛ぶの。
えるぎ うん。
ばんち 久々だしな。
えるぎ うん。
ばんち うん。あー、あれだな。やっぱ、今日は、かえろうかな。

えるぎ え。
ぱんち なんか、ちよつと。
えるぎ そつか。
ぱんち うん。
えるぎ うん。
ぱんち 先いくわ。
えるぎ うん。
ぱんち 明日な。
えるぎ うん。あした。

ぱんち去る。

えるぎ、電車が通っていくのを見送る。
そこはえるぎの部屋。

みかづき えっちゃん。(小声)
えるぎ え、
みかづき えっちゃん。(小声)
えるぎ え。
みかづき ひとり？(小声)
えるぎ え、うん。
みかづき なんだー。かくれて損したじゃん。
えるぎ かくれてって、え、隠れないでよ。
みかづき だってとんびと帰ってきて、私居たら困るでしょ。
えるぎ 隠れてるとかもっと困るし。
みかづき え、じゃあどうしろってのさ。
えるぎ 外に居てよ。
みかづき えー。
えるぎ えーって。
みかづき で、どうだったの？
えるぎ え
みかづき デート。
えるぎ あー……ね。
みかづき 遅かったじゃん。
えるぎ うん。
みかづき 公園？ラブホ？
えるぎ あー、ごめん。
みかづき ん？
えるぎ 失敗した。
みかづき えー???
えるぎ 修行が足らんね。
みかづき もー、あんなに練習したのに。
えるぎ やっぱブランクあるからさ、だめだね。

みかづき なんだー。
えるぎ 練習したんだけどな。
みかづき あ、ていうか、あれか。えっちしてたら、そもそもしゃべれないんだよね。
えるぎ そうだね。
みかづき ……てか、なに、その怪我。
えるぎ ちよつと、箒からおちてさ。
みかづき 箒？
えるぎ うん。……うーん、ていうか、色々あってさ
みかづき うん。
えるぎ ぱんちにばれてさ。
みかづき うん？
えるぎ ぱんちにばれた。
みかづき ……そのながれでなんでぱんちが？
えるぎ 色々あってさ。
みかづき え、で、ばれたって、それは、
えるぎ 魔女が。
みかづき 魔女がばれたの？！
えるぎ うん。
みかづき え、え、大丈夫なの？
えるぎ うん。それは、うん。多分。言わないとはおもう。
みかづき そっか。よかった。
えるぎ よかったよね。
みかづき うん、まあぱんちとえっちするわけじゃなし。
えるぎ うん、だから、まあよかったんだけど。
みかづき なに。
えるぎ なんかぱんち、がっかりしててさ、
みかづき なにが。
えるぎ なんか、私のことで、
みかづき へえ、でもいいんじゃない。ぱんちでしょ。
えるぎ まあそうなんだけど。
みかづき 黙っててくれるんならさ。べつにさ。
えるぎ そうなんだけど。
みかづき なに。
えるぎ うん。
みかづき え、もうなに、えっちゃんはぱんちがすきな。ぱんちとえっちしたいわけ。
えるぎ んなわけじゃないじゃん。
みかづき じゃあいいじゃん。
えるぎ いや、そういう、そういう問題だけじゃないからさ。
みかづき じゃあどういう問題なのさ。
えるぎ 魔女、さ。……魔女、ちゃんと捨てなきゃだよね。
みかづき だからそういつてんじゃない。
えるぎ そうだよね。

みかづき　そうだよ。だから協力してんじゃん。

えるぎ　そうだね。

みかづき　そうだよ。

えるぎ　がんばるわ。

みかづき　よし。じゃあわたしもう寝るわ。

えるぎ　え。

みかづき　昼がんびりすぎちゃって。

えるぎ　あ、そう。

みかづき　うん。あ、電話、しなよ。

えるぎ　え。

みかづき　とんび

えるぎ　え、でももう。

みかづき　ご馳走様はその日のうちにが基本でしょ。

えるぎ　そうかな。

みかづき　そうだよ。じゃあ、おやすみ。

えるぎ　おやすみ。

みかづき、去る。

えるぎ、しばらくぼんやりして、携帯をみる。ため息。

パンや。

まあむ　おはよーございます。

えるぎ　あ、おはよー。

まあむ　きのうはおつかれさまでした。

えるぎ　ああ。

まあむ　なんか、おつかれですか？

えるぎ　あー、うん。なんか、

まあむ　帰り、大丈夫でした？

えるぎ　うん。てか、あれ？今日は、配達は？

まあむ　あー、ちよっと、今日は、休ませてもらいました。

えるぎ　そうなんだ。

まあむ　やつぱりバリアが、ちよっと、きてて。あんまり今日とべなくて。

えるぎ　あー

まあむ　駄目ですね。仕事なのに。

えるぎ　なんかごめんね。

まあむ　いやいや、全然。

えるぎ　とんび、大丈夫だった？

まあむ　はい。途中で大分元気になって。

えるぎ　よかった。

まあむ　帰り、珈琲ごちそうになって

えるぎ　そうなんだ。

まあむ　おつきいおうちでびっくりしました。

えるぎ ああ、ね。お姉さんとか、あった？私の友達なんだけど。
まあむ あ、おうちの方、みんな出てたみたいで。
えるぎ え？？あ、じゃあ、ふたり、で、いえ、で
まあむ はい。でもわたし、わすれものしちゃって。
えるぎ え。

まあむ この後会うんですよ。

えるぎ とんびと

まあむ はい。

えるぎ そっか。

まあむ はい。

えるぎ ……え？

まあむ え？

えるぎ あ、いや、あの、あのさ、

まあむ はい

えるぎ 配達休むの、本当に今日だけ？

まあむ え。

えるぎ 卒業、魔女卒業してたりして、とか

まあむ あ、えー、してないですよ。

えるぎ ほんとに

まあむ ほんとですって

えるぎ ほんとに？

まあむ いや、

まあむ、ポルターガイストを起こす。

まあむ です。

えるぎ そっか。

まあむ ていうか、わたし、多分しないとおもうんですよ、卒業。

えるぎ え、

まあむ はい。

えるぎ なんです。

まあむ えー、だって、こわいじゃないですか。いまさら、かわるの。

えるぎ いや、でも

まあむ 使いたいじゃないですか。魔法。

まあむ まあ、そうかもしれないけど、でも、

えるぎ 自信ないんですよ。恋愛とか。怖いし。でも魔法は、自信あるっていうか。まあこれしかないし。

まあむ はずかしい、ですけどね、人から見たら、あれですけどね、でもまあ、自分にとっては、それでいいかなっていうか。

えるぎ そっか。

まあむ はい。あ、じゃあ、お先に。

まあむ、去る。

携帯鳴る。えるぎ、携帯をみる。

えるぎ　なんだ。

取る。

えるぎ　もしもし？うん。いま中はいつてる。あすなろは？あ

そこはカフェ。あすなろ発見。

あすなろ　おつかれ。

えるぎ　おつかれ。

あすなろ　ごめんね。よびだして。

えるぎ　ううん。で、なに、どうしたの。

あすなろ　まあ、報告があつてさ。

えるぎ　え、なに、まさか？まさかの？

あすなろ　うん。

えるぎ　え。

あすなろ　かれしが、できました。

えるぎ　うわー。えー、おめでとう。

あすなろ　ありがとう。

えるぎ　え、年上の？

あすなろ　うん。

えるぎ　いーなあ。

あすなろ　ていうかさ、知ってる人なんだよね。

えるぎ　え？

あすなろ　このまえあつたつて。

えるぎ　え？

あすなろ　とんびの先輩でさ。

えるぎ　え。あ、えええ？？あの、あれ？え、りつきーさん？

あすなろ　そうそう。

えるぎ　え、そうなの？ええ、そうなんだ。

あすなろ　うん。

えるぎ　へー。え、あ、へー。

あすなろ　うん。てかぶつちやけさ、かつこよくはないじゃん。

えるぎ　あー。

あすなろ　うん。で、あんなかんじだからさ、ちょっと、恥ずかしいんだけど。

えるぎ　いやいや。

あすなろ　いやいやいや、でも、優しいんだよね。

えるぎ　……うん。

あすなろ　なんか、わかってくれるっていうか。わかってくれようとするっていうか。

えるぎ　うん。

あすなろ 私絵とか、昔のやつもチェックしてくれてさ、このまえも展覧会きてくれて、なんていうのかな、宝物みたいだね、話してくれるんだよね。そういうのがさ、なんかさ、

えるざ いいよね。そういうの。

あすなろ うん。

えるざ 幸せに、してくれそうっていうか。

あすなろ うん。

えるざ おめでどう。

あすなろ ありがと。ていうかさ、びっくりしたんだけど。4人で遊びにいったって。

えるざ ああ。

あすなろ 実際さ、とんぴとはなんもないの。

えるざ え、なんで。

あすなろ なんか、あいつ、えるざのこと気にしてたみたいだからさ。

えるざ え。

あすなろ 彼氏とか沢山いるよっていったら凹んでて、

えるざ え？

あすなろ なんもないならいいんだけどさ。あんまり、勘違いさせないであげてね。あいつあれで、うぶだからさ。

えるざ いや、あの、

あすなろ あ、珈琲かってくるね。

えるざ あの、

あすなろ え。

えるざ ううん。

あすなろ 去る。

あすなろ、去る。

アナウンス 三番線、電車が参ります。開くドアにご注意ください。

電車がやってくる。

みんな、電車に乗り込んでいく。

アナウンス ドアが

えるざ ドアが

アナウンス ドアが、閉まります。

電車のドアが閉まっていく

えるざ ドアが、しまっていくんだけど

アナウンス 電車が、通過いたします。ご注意ください。

えるざ なんか、うごけないっていうか。

アナウンス

駆け込み乗車にご注意ください。

えるぎ
みかづき

荷物が重たくて、かけこめないっていうか。
ふうん。

アナウンス

発車いたします。ご注意ください。

えるぎ
みかづき
えるぎ
みかづき
えるぎ

どうせ閉まっちゃうしなっておもっちゃうのかな。
わかんないけど、もう電話しないってこと。
そういうわけじゃないけど。なんか。
……：：：てか、また怪我ふえてない。
うん。

箒？

えるぎ
みかづき
えるぎ
みかづき
えるぎ
みかづき
えるぎ

うん。でも大分カンがもどってきてさ。
うん。でも、魔女卒業するんでしょ。
うん。でもさ、
なにさ
ほめられてさ。

うん？

もうずっと、褒められたりしてなかったからさ

えるぎ
みかづき
えるぎ
みかづき

うれしくて。
ふうん。

ていうか思い起こせば、魔法以外で褒められたりしたことないからさ、
うん。

大人になるとき、誰にも褒めてもらえなくなるからさ

うん。

うん。あ

ん

だからセックスするのかな。

そうなの？

わかんない。

でもさ、もしそうだったらさ、えっちゃん結構たいへんじゃん。

え。

みかづき
えるぎ

褒められないし、セックスもしないし、てのでさ、ずっときてるわけじゃん。
だね。

褒められたいのか。

えるぎ
みかづき
えるぎ

あー、褒められたいね。ほめられて、ちやほやされて、すごいすごいっていわれたい。
そっか。

うん、でも、もう30だから。

うん。

えるぎ

ほめられないんだよね、魔女。もう。普通は。

みかづき だね。

えるぎ いつまでも魔女ツコでいるわけにもいかないし、

みかづき うん。

えるぎ わかっているんだよ。わかっているんだけどさ、まあでもだから、余計にっていうか。ぱーつと飛んでさ、わーつてなりたい、みたいな気持ちがあつてさ

みかづき うん。でもさ。

えるぎ うん。でもさ。

みかづき ……。

えるぎ ……。すごいよね。みんな。ちゃんと進んでるっていうか。わたし、なんか、ずっと同じ場所にいる気がする。

みかづき そうだね。

えるぎ そうだよね。

みかづき え、どうしたいの。

えるぎ すすみたい。

みかづき じゃあさ

えるぎ うん。……とりあえず、電話する。

みかづき うん。

えるぎ、携帯をとりだす。と、電話が鳴る、着信はとんび。

えるぎ あ。え??とんび。

みかづき え。

えるぎ、電話をとる。

えるぎ もしもし。

とんび あ、今大丈夫ですか。

えるぎ うん。あ、あの、このまえば、ごちそうさま。

とんび ああ、いや、ご馳走したの僕じゃないんで。っていうか、すいませんでした。泥酔しちゃって。

えるぎ あ、いや。

とんび そんなに酒弱くないつもりだったんですけどね。

えるぎ あー、うん。え、なに、どうしたの。

とんび あの、ちよつと聞きたいことがあつて。

えるぎ あ、うん。なに。

とんび できれば、直接。

えるぎ え。あ、うん。

とんび 明日とか、会えたりしますか。

えるぎ 明日。。。うん。

とんび じゃあ、えつと、どうしましょうか。

えるぎ あの。

とんび はい。

えるぎ うちに、きてもらってもいい?

とんび え。
えるぎ ……だめ、かな。
とんび 大丈夫、ですけど。
えるぎ 本当、、じゃあ、どうしようかな。
とんび 住所、送ってください。調べていくので。
えるぎ うん。わかった。じゃあ、明日。
とんび はい。明日。

電話切る。

みかづき みんなに報告してくるわ。
えるぎ えー。
みかづき じゃあ。

みかづき、去る。
えるぎ、電話をかける。

えるぎ もしもし？

シーン変わって

みかづき ってわけで、いよいよ卒業って感じですよ。
まんげつ へえ。
しんげつ いよいよか。
まんげつ でもいざとなるとさみしくない？もうしゃべれないの。
みかづき ー、まあ、普通そういうもんだしね。
しんげつ いや、でも普通そうだからさみしくないってわけじゃないじゃん。
みかづき あー、まあそうだけど
まんげつ 言い残したことかない？
みかづき えー、ないよ。いざとなるとないよ、逆に。
しんげつ そういうもんかね。
みかづき そういうもんだよ。
まんげつ あ、でも、友達のはなしなんだけどさ、
みかづき うん。
まんげつ そのコも魔女ツコの猫だったんだけど
みかづき うん。
最近油断してたら急にしゃべれなくなって、結構ショックうけてたんだよね。
まんげつ そうなんだ。
しんげつ うん。だから、やっぱなんか、悔いのないようにした方がいいって
まんげつ お、正論。
しんげつ でしょ。
しんげつ ひゅー☆

みかづき　　そうだね。

シーン変わって
りつきーとばんちに。

えるぎ　　ごめんなさい。

ばんち・りつきー　ええええええええええええ

ばんち　　でもだって、明日だよ

えるぎ　　うんごめん。

りつきー　みんな楽しみにしてるのに

えるぎ　　そうだよね。

ばんち　　そうだよ。それなりに盛り上がっちゃってるからさ、え、なに、どうしたの

えるぎ　　あの、やつぱり掟で

ばんち、りつきー　あー

えるぎ　　ばれちゃって、怒られちゃって。

りつきー　そうですか。

ばんち　　まあ掟じゃな

りつきー　そうですね

えるぎ　　ごめんなさい。

りつきー　いえ。

ばんち　　でもなあ。

りつきー　みんながっかりしますよね。

えるぎ　　だよね。

ばんち　　まあむちちゃんに頼んでみるか。

りつきー　ああ。そうですよね。ばんちさんのところで、働いてらっしゃるんですもんね。

ばんち　　そうなんですよね。だからまあ逆に、頼みづらいつて言うか、魔女研究会のこととか、はなしてな

りつきー　いんで、結構アレな所はあるんですけど

ばんち　　あー、あ、じゃあ僕から頼みましょうか。

りつきー　え

ばんち　　この前お会いしたんですよ。

りつきー　そうなんですか？

ばんち　　はい。箒にものせてもらって、感激しました。

りつきー　そうなんですか。え、いいなあ。

ばんち　　バリアつかうところもみせてもらって。ね。(えるぎに)

えるぎ　　あ、うん。

ばんち　　まじで？すげえな。

りつきー　じゃあ、僕きいてみるんで、

ばんち　　あ、はい。たすかります。ちよつと気まずいんで、僕明日いなくてもいいかもしれ

ないんですけど

りつきー　あ、わかりました。じゃあそれまでの段取りはつけてもらっていいですか。

ばんち　　あ、はい、それは、大丈夫です。

えるぎ　　あの、ほんごめんね。

ばんち まあ、大丈夫大丈夫。
りつきー じゃ、えるぎさん。いきましようか。
ばんち はい。じゃあ、えっちゃん、また
えるぎ うん。

えるぎのへや。えるぎ、しょんぼりしてる。

みかづき 緊張してる？

えるぎ うーん。うん。

みかづき うまくいったらさ、最後になるね。はなすの。

えるぎ そうだね。

みかづき って、こういうのもさ、言い過ぎてさ、もうはなすことないんだけどさ

えるぎ だね。

みかづき ちよつときみしいね。

えるぎ うん。まあ、普通はしゃべれないだし。

みかづき うん。でも、普通そうだからってさみしくないわけじゃないじゃん。

えるぎ そうだね。

みかづき 長い間、きちゃったし。

えるぎ そうだね。はやいうちにね、しゃべれなくなるよていだったんだけど。

みかづき ね。そしたらさ、そんな、そっかってかんじだったとおもうんだけど。

えるぎ そうだね。

みかづき ここまできちゃったからね。

えるぎ うん。重たくなっちゃったな。

みかづき なのが。

えるぎ 処女とか、魔法とか。

みかづき ああ。

えるぎ だから、こわいけど、すすまなきやね。

みかづき うん。

えるぎ 前に、いかなきやね。

みかづき まえってどっち。

えるぎ わかんない。わかんないけど、でも多分、きめつけちやうしかないじゃん。

みかづき うん？

えるぎ きめつけて、進んだ方を、前ってするしかないじゃん。

みかづき そっか。

えるぎ うん。

みかづき ……最初にさ、空とんだじゃん。

えるぎ え

みかづき あのとときさ、感動した。

えるぎ なに急に。

みかづき もうしゃべれなくなるから、それだけ言おうとおもって。

えるぎ えー。

みかづき えっちゃんと色々出来て良かったよ。

えるぎ わたしも、みーちゃんが一緒によかった。

みかづき えっちゃんがさ、がんばってきたのは知ってるからさ。

えるぎ うん？

みかづき しゃべれなくなるから、これから、わかんないかもしれないけどさ、これから、

誰にもほめてもらえなくてもさ、私は褒めてあげるからね。

えるぎ どうやって。

みかづき ゴロゴロしてしたら、よしよし、だとおもってね。

えるぎ よしよしって。

みかづき あとさ、

チャイムが鳴る。

えるぎ はい。

えるぎ、そとに。

みかづき じゃあね。

みかづき、去る。

とんびとえるぎ。

えるぎ いらつしやい。

とんび おじやまします。

えるぎ あれ？

とんび え。

えるぎ あ、猫がね、

とんび あ、飼ってましたよね。飼ってるっていうのかな。

えるぎ ルームシェア、してた。

とんび 面白いですね。その言い方。

えるぎ ここにきたときはさ、しゃべれたから。

とんび いいですね。猫としゃべれるって。想像つかないな。どんなかんじだったんですか。

えるぎ 楽しかったかな。

とんび へえ。じゃあ、しゃべれなくなったときは、

えるぎ わすれちゃった。

とんび そっか。

えるぎ それが普通だし。

とんび そうですよ。

えるぎ でも、淋しかったかな。

とんび ですよ。

えるぎ そのぶんね、がんばろうっておもったりした。

とんび あー

えるぎ 魔法なくなるぶん、埋めなきやな、みたいな。

とんび　　そっか。
えるぎ　　うん。

とんび・えるぎ　あの

えるぎ　　あ、いいよ。
とんび　　あ、いや、
えるぎ　　とんびは、すきなひととか、いるの。
とんび　　え。
えるぎ　　今。

とんび　　僕、えるぎさんに憧れて、整備士になって、みたいな話したじゃないですか。
えるぎ　　うん。
とんび　　でも、多分それ、きれいごとだったんすよね。

えるぎ　　……。
とんび　　憧れとかじゃないんすよね。やっぱり、うらやましいモノはうらやましいし、
えるぎ　　欲しいもんは欲しいっていうか。
とんび　　欲しいって。

とんび　　……。
えるぎ　　……。

とんび　　でも、正直わかんないんすよね。こういうの、飛びたいって気持ちの、延長
線にある気がして。好きっていうか、そういうふうになりたくて、なれなかつ
たかわりに、みたいなかんじもして。

えるぎ　　でもわたしも、そういうのわかるよ。とんびみたいになりたかったなって、思う。
とんび　　え。

えるぎ　　だから、色々きめていかなきゃなって。選んで進んで行かなきゃなって。前ってきめて、いかなきゃ
なって。

とんび　　ぼくはそんな。

えるぎ　　あのさ。

とんび　　はい。

えるぎ　　ききたいことって、なに。

とんび　　あー……、あの、

えるぎ　　……うん。

とんび　　僕、

えるぎ　　……うん

とんび　　まあむさんと

えるぎ　　ん？

とんび　　やっちゃったんですけど、

えるぎ　　やっちゃった？？

とんび　　えるぎさんは、

えるぎ　　ちよっと、ちよっとまってね、え、まあむちちゃんと

とんび　　はい。

えるぎ　　え？？いつ？

とんぴ あの、このまえ、ちよつと会ったんですよ。忘れ物渡しに。
えるぎ ああ

とんぴ それで、ちよつと飲んで
えるぎ うん。

とんぴ 僕、そんなにお酒弱い方じゃなかったんですけど、なんかあの、みんな飲んでじゃないですか、
えるぎ あの日からめつちやお酒弱くなってて、その日もなんか、泥酔しちゃって

とんぴ それは、あ、う、あ
えるぎ で、そのまま。

とんぴ あの、え、とんぴはさ、まあむちゃんのこと、好きなの？？

とんぴ どうなんですかね。ただの憧れみたいなものだけじゃないってことは、分かったんですけどね。
えるぎ つきあうの？

とんぴ そうしたほうがいいんですかね。なんか、ちよつとどうしていいかわかんなくて。自分の気持ちも
えるぎ もやもやしてるんですけど、魔法無くなるとかも、想像つかないし。まあむさんの気持ちもよくわ
かんなくて。それで、相談したくて。
そう。

とんぴ あの、えるぎさんって、なんで魔女やめたんですか。
えるぎ え

とんぴ 女性にこういうこと聞くのは本当にアレだとはおもうんですけど、でも、こんなこと、えるぎさん
にしか相談できなくて。

とんぴ ああ。

とんぴ はい。

とんぴ まあ、そのときは、好きな人ができて、

とんぴ はい

とんぴ 自然な流れでうちに送ってくれて、

とんぴ はい

とんぴ それで、相合い傘して、帰って、そのまま

とんぴ その人のこと、好きでした？

とんぴ ……：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

とんぴ そっか。え、で、そのひとは。

とんぴ 向こうに、好きな人ができて

とんぴ え。

とんぴ だめに、なった。

とんぴ それ、ショックですね。

とんぴ ショックだった。

とんぴ あの、後悔しませんでした？そのひとと、そうなって、魔女じゃなくなったこと。

とんぴ 後悔は、しなかった。うん。進みたかったし。ちゃんと踏ん切りつけたかったし。すきだったし。

とんぴ 魔女でいるの、すごく、つらかったし。

とんぴ つらかったんですか。

とんぴ つらかったよ。だってほら、ずっと魔女ってわけには、いかないからさ。いかないっていうか、い

とんぴ やじゃん。だれとも、ねえ？さわったり、触られたりしないで、ずっとずっと生きていくって。さ
みしいじゃん。怖いし。

とんぴ そうですよね。

えるぎ うん。なのに、全然そんな機会なくて、そうこうしてるうちに、きがつけば、手放すの、怖くなつてるし、でも、手放せないのもこわいし。身動きとれなくて。くるしかったから。じゃあもう今は全然、ないんですか、未練とか。魔法に。どうか。

えるぎ 空とびたいとか、猫と話したいとか。

えるぎ それは、思う、かな。すこしね。

とんび ですよね。

えるぎ そうだね。

とんび たのしそうでしたもん。

えるぎ 楽しかったよね。とんびに言われて思い出した。大変だったし、嫌なことも沢山あったけど、でも、あのとときのわたしは、わたしのこと好きだったな。

とんび すごいっておもってたんですもんね。

えるぎ え。

とんび 世界ってすごいって、わたしってすごいって。

えるぎ うん。

とんび まあむさんもそうだったんですかね。

えるぎ え。

とんび わたしってすごいって。

えるぎ あー、ね。

とんび それなのに、飛べなくさせちゃって。

えるぎ ……。

とんび 今、どういう気持ちなんですかね。

えるぎ うん。

とんび あー、ホント僕どうしたらいいんすかね。

えるぎ ……まあでも、大丈夫じゃない？

とんび いや、大丈夫じゃないでしょう。

えるぎ 大丈夫だよ。

とんび 大丈夫じゃないですよ。

えるぎ 大丈夫だよ。だって、わたし、うらやましいし。

とんび え

えるぎ 20歳でとべなくなるの。20歳でとんびとえっちしてとべなくなるの。わたしだってそうしたかったし。

とんび え。

えるぎ わたしだって、とんびとえっちして、飛べなくなりたかったし。

とんび えるぎさん？

えるぎ まあむちゃんがどう思ってるかわかんないけど、私は交換したいくらいだし。

とんび あの、

えるぎ 20歳でとべなくなるとか、30歳で処女で飛べるってことより、全然、大丈夫ですよ。

とんび 30歳で……？

えるぎ わたし、……えい。

みかづき、出てくる。

みかづき え？？あ、（えるぎにきづいて）にやあ。
えるぎ にやあって。

とんび あの

みかづき え、（とんびにきづいて）あ、本物？生とんび？？

えるぎ 生とんび。

みかづき しゃべれるの？

えるぎ ね。

とんび 生とんび？

えるぎ 大丈夫だから。とんびもまあむちゃんも、大丈夫だから。今日も大丈夫だから。みてて。

みかづき えっちゃん？

えるぎ みーちゃん、いくよ。

えるぎ、外へ行く。

みかづき え、あ、ちよっと。

みかづき、後を追う。

えるぎ声 のって。

みかづき声 え

えるぎ声 えい。

みかづき声 え、あ、ちよ、うわああああああ。

とんび、玄関から外を見て、空を見上げる。

とんび うわー。（笑う）あー、今日も、大丈夫だわ。

空を飛んでるえるぎとみかづき。ちよっと危うい。

みかづき うわああああ。えっちゃん、ちよっと、えっちゃん

えるぎ なに

みかづき どうしたのさ。

えるぎ た。

みかづき え。

えるぎ ふられた。

みかづき まじ？

えるぎ まあむちゃんとやってた。

みかづき あちゃー。

えるぎ だからまあ、箒に乗ろうと思って。

みかづき え。

えるぎ 箒で空飛べるか、試してみようと思って。

みかづき え？（危うい）あああああ。
えるぎ あのときみたいにはとべないけど、でも、飛べてるし。
みかづき 飛べてるー？
えるぎ 誰かが褒めてくれなくても、今日は私が私のことを褒めてあげようと思って。
みかづき えー？
えるぎ あー、すごいぞ世界！すごいぞ私！
みかづき ゴロゴロ。
えるぎ なに。
みかづき なんでも。
えるぎ ねえ、ラジオつけて。
みかづき えー。
えるぎ 今手離したらマジで墜落するから。
みかづき もー。

ルージユの伝言。もしくは優しさに包まれたなら。

みかづき みんなみてるね。
えるぎ ね。
みかづき 捨てれるの処女。
えるぎ ね。
みかづき まあ、また機会はあるよ。
えるぎ そうだよね。
みかづき そうだよ。次行こう、しまっくいこー！
えるぎ うん。あー
みかづき ん？
えるぎ えっちしたい。

幕